



# 第1回 全日本学生選手権オムニアム大会



2017年11月5日(日) 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム(屋内 250m)

主催: 日本学生自転車競技連盟

後援: 公益財団法人日本自転車競技連盟

協賛: アシックスジャパン株式会社

ommunique-1 R

2017年10月29日

大会総務委員長 荒井 純一

## 1. 開催日程を1日開催へ変更する件について

- ・今回エントリーが、男子 67 名、女子 7 名であるため、男子のみ予選をポイントレース 15km で、3 組で行うこととします。
- ・決勝は、女子は 1 組で、男子については男子決勝 A 組と男子決勝 B 組の 2 組で行うこととします。男子予選の各組の 1 ~ 8 位は男子決勝 A 組に進み、予選各組の 9 ~ 14 位が男子決勝 B 組に進みます。男子決勝 A 組において、本大会の男子の 1 ~ 24 位 を決定し、男子決勝 B 組において本大会の男子の 25 ~ 42 位を決定します。
- ・上記の要領で本大会の予選及び決勝を行うにあたり、1 日での開催が可能であると判断し、本大会は予選・決勝を含め 11 月 5 日(日) のみで実施することに決定致しました。よって、下記の通りの時程表に従い、本大会を実施することと致します。

## 2. 時程表

11月5日(日)

No.	開始時間	区分	種目	ROUND
	07:00		開門	
	08:30		練習時間 Aグループ (25分)	
			練習時間 Bグループ (25分)	
	08:30		選手受付・ライセンスコントロール	
	08:45		監督会議	
	09:00		役員集合打合せ	
	09:20		練習終了	
	09:30		開会式	
1	10:00	男子	オムニアム予選 (ポイントレース 15km)	予選 (3組・67名)
	11:30		昼食	
2	12:00	女子	オムニアム I (スクラッチ 7.5km)	(1組・7名)
3		男子	オムニアム決勝 B - I (スクラッチ 10km)	(1組・18名)
4		男子	オムニアム決勝 A - I (スクラッチ 10km)	(1組・24名)
5	13:00	女子	オムニアム II (テンポ 7.5km)	(1組・7名)
6		男子	オムニアム決勝 B - II (テンポ 10km)	(1組・18名)
7		男子	オムニアム決勝 A - II (テンポ 10km)	(1組・24名)
8	14:00	女子	オムニアム III (エリミネーション)	(1組・7名)
9		男子	オムニアム決勝 B - III (エリミネーション)	(1組・18名)
10		男子	オムニアム決勝 A - III (エリミネーション)	(1組・24名)
11	14:50	女子	オムニアム IV (ポイントレース 20km)	(1組・7名)
12		男子	オムニアム決勝 B - IV (ポイントレース 25km)	(1組・18名)
13		男子	オムニアム決勝 A - IV (ポイントレース 25km)	(1組・24名)
			競技終了	
	16:45		閉会式・表彰式	



レースの結果はホームページでも公開しています。

<http://jicf.info/>



# 第1回 全日本学生選手権オムニウム大会

2017年11月5日(日) 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム(屋内250m)  
主催: 日本学生自転車競技連盟 後援: 公益財団法人日本自転車競技連盟  
協賛: アシックスジャパン株式会社



Communique-2  
2017年10月13日  
大会総務委員長 荒井 純一

## 1. 開門時間について

11月5日(日) 午前7時00分 開門

## 2. 公式練習時間について

### ●練習グループ分けおよび練習時間

Aグループ 午前8:30~8:55 (25分)

慶應義塾、駒澤、中央、東京、東洋、日本、法政、明治、明星、立教 / 計37名

Bグループ 午前8:55~9:20 (25分)

早稲田、日本体育、信州、朝日、京都産業、大阪産業、鹿屋体育 / 計37名

※練習時間を上記の通りに分けます。それぞれの練習時間を確保するため、指定練習時間を厳守願います。

また、落車等の事故のないようくれぐれも注意して下さい。

※公式練習時間中は、医療スタッフが不在です。落車等のトラブルは、自己責任とします。

※スロースタート(単独を含む)と一切のスタンディング及びスタート練習を禁止します。

※場内は、終日インフィールドの床面保護のため、レーザーシューズでの歩行を禁じます。

## 3. 公式外練習(前日練習)について

11月4日(土)は伊豆ベロドロームが午前、午後とも他団体で貸切のため、前日練習はできません。

ご注意ください。

## 4. 受付について

①受付日時 11月5日(日) 午前8時30分~9時10分

②受付場所 インフィールド内大会本部(ベロドローム会場内見取図参照①大会受付)

③ライセンス等 受付時には、参加選手のライセンス(本証)を持参・提示してください。

※ライセンス申請中及び再発行手続中の者は申請書の控えまたは申請画面の北°を提示すること。

## 5. 駐車場およびトイレについて

①駐 車 場 伊豆ベロドローム前大駐車場(指定区域のみ)

②ト イ レ 下記掲載のベロドローム会場案内図参照、⑦女子トイレ・⑨男子トイレのみ使用(指定箇所以外の使用禁止)

※トイレ使用については、洗面所周りの水弾きやトイレ個室内のペーパー及び芯の散乱などないように、美化清掃を各自徹底願います。

## 6. ゴミの処理について

①処分方法 各自・各校が持帰り、処分すること

②そ の 他 関係者への注意喚起の徹底(各校応援席含む)を願います。

※競技場内やサイクルスポーツセンターのその他施設(近隣・コンビニを含む)にゴミを投棄した場合には、大会会場として今後の利用ができなくなりますので、部員、関係者(応援席含む)に会場の美化を徹底させて下さい。(厳守)



レースの結果はホームページでも公開しています。

<http://jicf.info/>



# 第1回 全日本学生選手権オムニウム大会



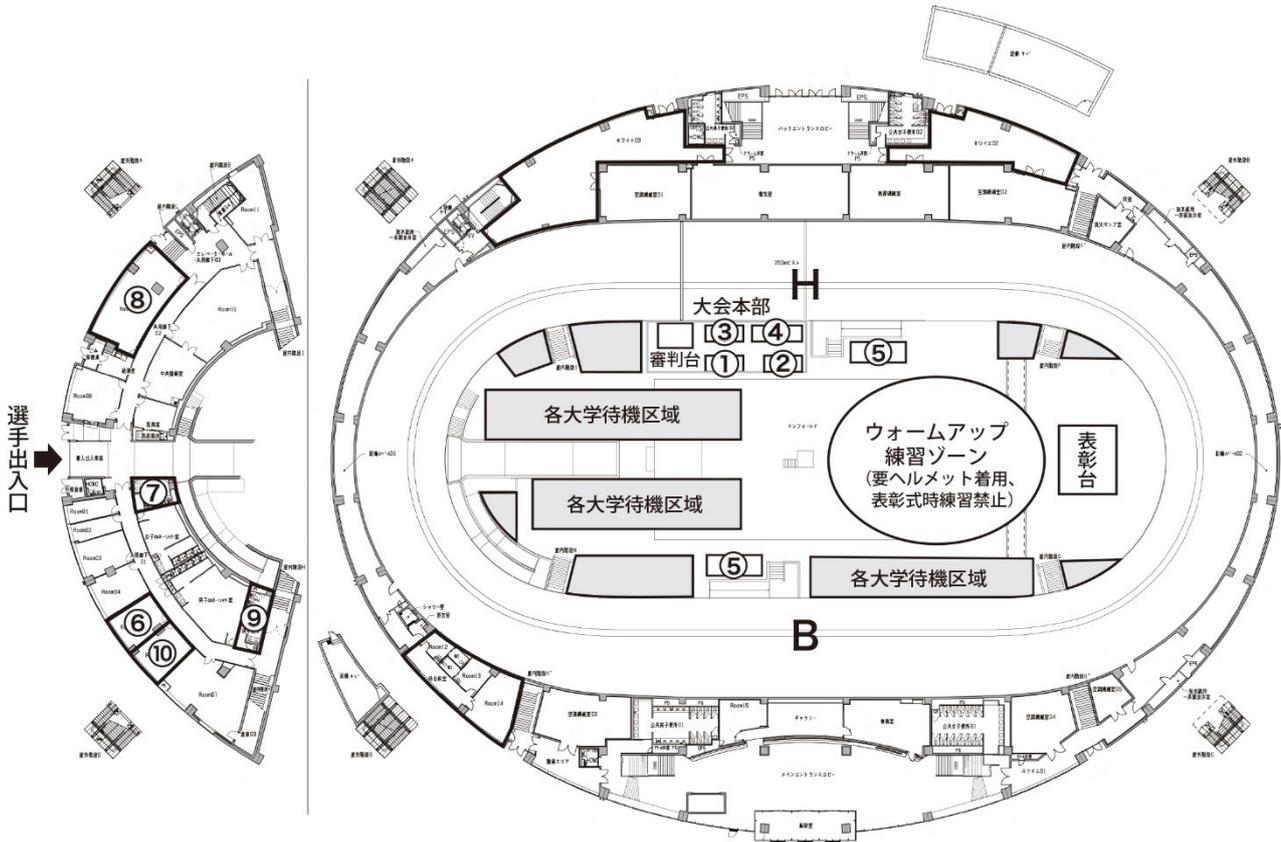
2017年11月5日(日) 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム (屋内 250m)

主催: 日本学生自転車競技連盟

後援: 公益財団法人日本自転車競技連盟

協賛: アシックスジャパン株式会社

## 【ベロドローム会場案内図】 地下階含む



- ① 大会受付(兼召集) ② バイクチェック ③ 救護所 ④ 審判席 ⑤ 次走選手待機場所
- ⑥ 女子更衣室 ⑦ 女子トイレ ⑧ 役員控室 ⑨ 男子トイレ(水浴び禁止) ⑩ 男子更衣室

(ベロドローム・フィールド内)

この表示はフィールド内の各大学の待機区域です。各大学への場所割当て等は特に指定いたしませんので、各校譲り合って使用して下さい。また、トイレなどへ降りる階段の前には物を置かないようにして下さい。特に自転車などを置くと通れないことがありますので、注意して下さい。

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。

<http://jicf.info/>



# 第1回 全日本学生選手権オムニアム大会

2017年11月5日(日) 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム(屋内 250m)  
主催: 日本学生自転車競技連盟 後援: 公益財団法人日本自転車競技連盟  
協賛: アシックスジャパン株式会社



Communique-3  
2017年10月23日  
大会チーフコミッセル 倉田 達樹

## 1. 専用ゼッケン, フレームプレートについて

大会要項の特別規則に記載の通り、予選、決勝とも各レース専用ゼッケンを使用しますので、各レース参加選手は各自間違いないように付けて下さい。また、フレームプレートも同時に配布するので、フレーム前部中央につけることを原則とし、中央に取り付けられず左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せて、結束バンドやテープ等で確実に取り付けて下さい。

## 2. ゼッケンの付け方について

ゼッケンをつける際の安全ピン、フレームプレートをつける際の結束バンド・テープ等は、各自で用意して下さい。ゼッケンの各種目における取付け位置は右図の通りとします。ゼッケンの四隅を安全ピンで確実に止めて、乗車した姿勢で出来るだけシワがよらない見やすい状態で装着して下さい。

※ゼッケン、フレームプレート紛失、未返却は1枚1,000円のペナルティーを科します。



## 3. 出走レース確認およびスタート整列順について

本大会は、決勝A、Bの様に同種目のレースを続けて行うため、参加する選手は各自の出走レースを間違えないように、進捗状況を確認のうえ、時間に余裕をもって準備するようにして下さい。他の選手と同時にスタート位置につけない場合は、スタートを認めない場合があります。

なお、オムニアム決勝の各種目のスタート整列順は、その時点のオムニアム順位に基づく順になりますので、スタートリストをよく確認して間違えない様に整列して下さい。(JCF 競技規則 第83条(A)オムニアム 参照)

## 4. バイクチェックおよび選手招集について

- ・招集は全種目の最初のラウンドのみで行います。この招集は、チーム役員登録者である代理の者でも可とします。
- ・バイクチェックはすべての種目のすべてのラウンド毎に行います。選手本人が走る姿(ユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット着用、自転車持参)で参集して下さい。各ヒートに於いて、バイクチェック後のポジション変更、車輪変更等の器材の変更は認められません。

## 5. 着衣に関する注意事項について

空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため(圧迫、引張、支持)の、付加的な衣類または物は禁じる。また、屋内トラックにおける競技ではシューズカバー使用は禁止される。(2017 JCF 規則第8条6項) これら着衣に関する注意事項を遵守、徹底して下さい。



レースの結果はホームページでも公開しています。  
<http://jicf.info/>



# 第1回 全日本学生選手権オムニウム大会

2017年11月5日(日) 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム(屋内250m)  
主催: 日本学生自転車競技連盟 後援: 公益財団法人日本自転車競技連盟  
協賛: アシックスジャパン株式会社



## 6. 前輪ディスクホイールの禁止について

トラック競技において、前輪へのディスク使用は、タイムトライアル種目にのみ許される。(2017 JCF 規則第16条 3.(2)a)⑧項) したがって、本大会ではタイムトライアル種目は無いため、使用することが出来ません。

## 7. ニュートラリゼーションへの対応について

ニュートラリゼーションへの対応のため、チーム役員登録証に登録してある人員が、サポートとしてホーム側又はバック側どちらかの出入口付近での待機を認めます。その際、各校の待機できるサポートの人数は、出走する選手人数を上限とします。(チーム役員登録証についての詳細は、Communique-4 第2項を参照)

## 8. 本大会の予選～決勝A,B組の組合せ方について

以下は、Communique-1 第1項にも記載あり重複しますが、競技事項のため、再度記載いたします。

- ・今回エントリーが、男子67名、女子7名であるため、男子のみ予選をポイントレース15kmで、3組で行うこととします。
- ・決勝は、女子は1組で、男子については男子決勝A組と男子決勝B組の2組で行うこととします。男子予選の各組の1～8位は男子決勝A組に進み、予選各組の9～14位が男子決勝B組に進みます。男子決勝A組において、本大会の男子の1～24位を決定し、男子決勝B組において本大会の男子の25～42位を決定します。

## 9. その他の注意事項について

- トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル上に少なくとも片手を置いていなければなりません。これに違反した競技者には警告を与えます。
- ハンドルバーの端面には必ずバーエンドキャップを装着して下さい。また、安全のため手が滑らない様に握りの部分にバーテープを巻いて下さい。
- 各種目の内側選手のみ、ホルダーを各チームよりご協力下さい。(1番選手は役員がホルダーを行います)
- 表彰式にはチームユニフォームを着用して下さい。サングラス・帽子・サンダル履きは禁止です。

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。  
<http://jicf.info/>



# 第1回 全日本学生選手権オムニウム大会

2017年11月5日(日) 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム(屋内250m)  
主催: 日本学生自転車競技連盟 後援: 公益財団法人日本自転車競技連盟  
協賛: アシックスジャパン株式会社



Communique-4  
2017年10月26日  
大会総務委員長 荒井 純一

## 1. 監督会議について

- 11月5日(日) 午前8時45分より伊豆ベロドローム内、大会受付付近において、監督会議を行います。
- 監督が出席できない場合は、代理の者の出席を認めます。
- 監督会議の際に、ニュートラリゼーション適用時に代車交換対応のために待機できる人員の登録をするチーム役員登録証(ニュートラリゼーション待機用)を総務委員長まで提出してください。

## 2. チーム役員登録証(ニュートラリゼーション待機用)について

- オムニウムは集団による対戦系の競技である性格上、落車によるニュートラリゼーションの発生が予想されます。ニュートラリゼーション適用時に代車交換対応のために待機できる人員の氏名を、チーム役員登録証に記入し、監督会議の際に提出してください。監督会議終了後の提出は大会受付にて9時30分まで受け付けます。
- チーム役員登録証(ニュートラリゼーション待機用)には監督、コーチを含めてスタッフを5名まで登録できます。予選に参加する人数が5名以上の場合は参加人数と同数の人員を登録できます。
- チーム役員登録証(ニュートラリゼーション待機用)に登録してある方で、出走選手1名につき1名のみが、試合中に、ホームまたはバックのインフィールドへの入口付近の下(入口へのスロープの部分のみ、審判の妨げになる場合は移動してもらう場合がありますので注意してください)で待機することができます。それ以外の方の待機はご遠慮ください。
- チーム役員登録証(ニュートラリゼーション待機用)は学連ホームページよりダウンロードできますので、記入して試合当日にご持参ください。

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。  
<http://jicf.info/>